

うるま市教育目標「郷土に誇りを持ち、未来を拓く人づくり」  
市重点項目 人を大切にする「聴くこと」…子どもも教師も聴くことを重視  
勇気づけのボイスシャワー…自己肯定感を育む言葉かけ  
市共通実践項目「あいさつ・返事・後始末」

## 学校教育目標

### よく考え、進んで学習する子

(学ぶことの意義・面白さを知っている子)

### 明るく思いやりのある子

(生きる楽しさがわかり、人を思いやることができる子)

### ねばり強くたくましい子

(自分を大切に、ねばり強く目標に向かって努力する子)

#### 目指す学校像【安全・活気・期待】

- 明日も来なくなる学校
- 安全で整然、清潔に整備された学校
- 子ども達の活動で活気あふれる学校
- 一人一人に居場所のある安心・安全な学校
- 地域に根差し開かれた信頼される魅力的な学校

#### 目指す児童像

自分になりたい職業をイメージして、学ぶことや働くことの意義を理解し、主体的に取り組む子

- か：考える子
- ね：ねばりと思いやりのある子
- は：はつらつとした子
- ら：はたらく子
- しょう：将来の夢を持つ子



#### 目指す教師像【やる気・信頼・厳しさ】

- 情熱と使命感があり、率先して実践する教師
- 穏やかな心と笑顔で子どもに公正公平に接し、共に歩む教師
- 主体的研修で自己の資質能力を高める教師
- 信頼と秩序ある職場づくりに励み積極的に経営に参画する教師
- 教育公務員として服務と使命感を忘れず、自ら律した言動のできる教師
- 地域に関心を持ち、進んで交流できる教師

#### 学校経営の基本方針

『見て、感じて、動く』教師集団として、自らの取組を厳しく問い返しつつ「限りない可能性を秘めた児童」の成長(変容)を目指し、組織的な協働体制で教育課程を遂行する。  
一時徹底：「あいさつ・返事・後始末」

#### 市民協働学校の取組の推進

- 地域関係団体との連携(自治会や子ども会と連携した活動を推進する)
- 地域の自然・素材を生かす(地域の自然、素材を積極的に活用し、学年に応じた学習を行う)
- 地域人材の計画的・効果的な活用(地域人材を積極的に活用し、教育効果を高めるとともに地域を愛する心を醸成する)
- 地域行事への積極的参加と参画を図る(児童が、より深く地域を理解するため、地域や行事に積極的に関わる機会を創る)

## 知

### キャリア教育の視点を踏まえた確かな学力の向上 具体的な取り組み内容

#### 当該学年の学習内容を身につける

- ①各学年で「基礎学力の定着」「探求・活用力の向上」を図る
- ②学びの姿勢の確立(うるま市重点項目の推進・日常的な授業改善)
- ③ICTを活用したわかる授業の構築
- ④GIGA スクール構想の充実による個別最適化され、創造性を育む学びの実現
- ⑤キャリア教育の充実(キャリアパスポートの活用・ドリームストリート活用)
- ⑥SEL-8S(社会性と情動の学習)の充実
- ⑦補習指導の充実(読解ドリル・基礎基本の共通・スタディサプリの活用)
- ⑧家庭学習の充実(自己調整学習力の育成)

#### 学ぶ楽しさやわかる喜びを体感させる

- ①補習指導の充実(さよなら学習):読解ドリル・スタディサプリ
- ②家庭学習の充実(自己調整学習力の育成)



#### ≪評価基準・指標≫

- ・県到達度調査の正答率…中頭、市平均以上
- ・単元テスト平均点…80点以上・通過率80%以上
- ・目標読書冊数…低:100冊 中:90冊 高:80冊

#### ≪家庭との連携≫

家庭学習の習慣化

(目標時間)(目標冊数)

低学年	30分	8冊
中学年	60分	8冊
高学年	90分	8冊

毎週第3日曜日「ファミリー読書の日」

宿題、忘れ物チェック



## 徳

### 豊かな心の育成 具体的な取り組み内容

#### 各学級で支持的風土を基盤とした学級経営(勇気づけのボイスシャワーの徹底)

- ・生徒指導4つのポイントを生かした学級経営の充実
- ・アセスを活用した児童の学校適応感の把握と個に応じた対応の充実

#### 道徳教育の効果的な推進

- ・道徳教育研究の推進(うるま市研究指定校)

#### 自己有用感及び自己肯定感の育成

- ・他者との協働活動や話し合い活動の充実
- ・豊かな体験活動の充実



#### 積極的な生徒指導体制の機能化

- ・生徒指導、教育相談、特別支援コーディネーターの連携
- ・諸調査の結果を活用した個に応じた指導と集団に対する指導

#### 一時徹底「あいさつ・返事・後始末」

#### 黙勤、自問清掃、ボランティア活動の推進

#### 地域人材バンクの作成と効果的な活用当該学年の学習内容を身につける

#### ≪評価基準・指標≫

- ・支持的風土の醸成(県児童質問紙10・13・14)
- ・体験活動に意欲的に取組む(学校評価Ⅱ-5(2))
- ・ボランティア活動に意欲的に取組む(児童質問紙)
- ・あいさつ・返事・後始末の実践ができる(学校評価Ⅱ-4(3))
- ・道徳教育の推進(学校評価Ⅱ-5(1))

#### ≪家庭との連携≫

家庭でのあいさつを習慣化

体験活動の推進

地域行事への参加促進



## 体

### 健やかな体の育成 具体的な取り組み内容

#### 食事や安全に気を付け、進んで健康づくりができる。

- ・危険回避能力の育成(学校安全年間計画にそった指導・避難訓練の実施)
- ・食育指導の実施(栄養士との連携による指導)
- ・交通安全指導の実施

#### 健康に関心を持ち、体力を向上させることができる。

- ・新型コロナウイルス感染症に対する理解の促進と実践
- ・体育授業の充実
- ・生活リズムの確立(8時までに登校・早寝、早起き、朝ご飯)
- ・1校1運動(なわとび)
- ・てくてく登校(徒歩登校)の奨励



#### ≪評価基準・指標≫

- ・給食、栄養指導の目標(給食を完食できる・朝食をとって登校)
- ・安全教育:本年度の重点目標「日常生活にひそむ危険を予測し、主体的に対処している、判断力や行動力を養う」

#### ≪家庭との連携≫

8時徒歩登校の奨励

早寝早起きの習慣化



#### 基本的生活習慣の形成

- 生活リズムの確立(「早寝・早起き・朝ご飯」の実践)
- 規範意識・マナーの育成(あいさつの習慣化・きまりを守る・命を大切にする・いじめをしない)
- 凡事徹底の推進(時間のけじめ・地域、家庭と連携した指導の推進)